

ブランドを守るため、 死角なき全社管理体制を模索。 選ばれたのは、Arcserve

肌を治すチカラ

MUHI



ユーザプロフィール

業 種：製薬

会 社 名：株式会社 池田模範堂

従業員数：257名（2010年7月現在）

課 題

これまで同社は拠点単位で情報システム運用を行ってきた。重要な業務データはNASを利用して保管していたが、しだいにハードウェア障害に悩まされるようになった。データ消失の危機を経験したこともあり、情報システム部門不在であっても、確かなデータ保護体制の整備が求められていた。

経 緯

そこで業務やデータそのものに精通した組織横断的な情報システム委員会を立ち上げ、そのメンバーとテクニカルパートナーでデータ保護体制のあるべき姿を検討。さまざまなリスクを想定して、データ・バックアップとデータ・レプリケーションという、二段構えのデータ保護による運用管理を行うことになった。

導 入

これを可能にするソリューションとして選定したのが、Arcserve BackupおよびArcserve ReplicationからなるCA ARCserveシリーズだった。情報システム委員会メンバーが過去に活用した経験があり、またすぐれた操作性により、別に業務を持ちながらでも管理を行える点が高く評価された。

効 果

専任のデータ保護管理者を必要とすることなく、自動化も含めたシンプルなデータ保護管理体制が確立された。しかも、二段構えのデータ保護運用により、データ消失のリスクが解消した。また、各拠点のユーザにとってもデータ保管について懸念を抱くことなく、自らの業務に専念できるようになった。

arcserve®



株式会社池田模範堂
営業部 営業企画課
早川 健氏

富山を本拠地とし、「ムヒ」ブランドで消費者に広く知られる外用剤メーカーである株式会社 池田模範堂。同社では重要な業務データの保管を各拠点単位で行い、標準的なバックアップルールを設けていなかったため、潜在的にデータ消失のリスクを抱えていた。そこで、組織横断的なプロジェクトを立ち上げ、Arcserve シリーズを採用して二段構えのデータ保護体制を確立。ユーザと管理者の不安と懸念を払拭した。

課題

業務データ保管で大きな壁に直面

株式会社 池田模範堂は、創業1909年と長い歴史を有する外用剤のトップメーカーである。特に虫さされ・かゆみ止めの分野では、「ムヒ」のブランドで他の追随を許さない競争優位性を保っている。同社の経営スピリッツ、その基底を成すのは“変身への挑戦”だ。

池田模範堂の本社は富山県にある。支店が、東京、名古屋、大阪、福岡と4ヶ所にあり、それまで拠点単位で情報システムを運用してきた。支店ごとにNAS(Network Attached Storage)を設置、業務に必要なデータは各ユーザが自席のクライアントPCからここへアップロードするようにしていた。

ところが、導入後しばらくすると、突如稼働を停止したり、動作がおかしくなるといったNASのハードウェア障害に悩まされるようになった。同社は情報システムを拠点単位で管理しており、NASも特にデータ保護ルールを設けていなかったため、そうした障害発生時には大きな問題となった。過去には、壊れたNASに格納していた重要な業務データを復旧するため、多大なコストをかけてデータ・サルベージをかけたこともある。

“このままではいけない”という危機意識があった、と、株式会社 池田模範堂 営業部 営業企画課 早川健氏は語る。前職でシステム開発を行うSEだった同氏は、池田模範堂の情報システム管理を底上げする使命も担って入社していた。

「今まではPCを導入・利用することに主眼を置いてきましたが、早急にリスクを回避する体制を整える必要がありました。重要なデータを消失させて社会的信用を落とすようなことになったら、『ムヒ』ブランドに大きな傷がつき、当社は立ち直れなくなってしまうかもしれません。ブランドを守るために抜本的な改革が求められていたのです」(早川氏)

経緯

バーチャルな情報管理プロジェクトで、最適なデータ保護体制を検討

そこで誕生したのが、5名からなる情報システム委員会(以下、JSI)だ。これは経営トップからの指名を受けて誕生した、いわばバーチャルな情報管理プロジェクトである。2008年2月、早川氏も所属部署の業務をこなしながら、JSIの一員として全社情報システムのあり方を模索。ユーザが安心して業務に専念できるデータ保護体制を整えるとともに、ユーザとPCを適切に管理できるWindows Active Directory(以下、AD)を構築することにした。

このプロジェクトを推進するにあたって、テクニカルパートナーを務めたのが、キャノンシステムアンドサポート株式会社(以下、キャノンS&S)である。同社はシステム提案に際して池田模範堂の情報システム環境を徹底的に調査、実情に即したデータ保護体制とAD構築を示したシステムインテグレータであった。

JSIとキャノンS&Sは、データ保護の重要性に配慮して二段構えの手法を取ることを決断した。

第一段階では、会社の根幹である富山本社と情報の発信地である東京支店にファイルサーバを構築して業務上重要なデータをここで一元的に管理するとともに、サーバ・データのディスクからディスク、さらにテープメディア

アへのバックアップ環境を構築する。

第二段階として、災害対策の観点から富山本社サーバと東京支店サーバの間でデータ・レプリケーションを行う。

このような構成を取ることにした背景を、早川氏は次のように語る。

「富山も、東京も、地震など不可抗力な災害に遭遇する危険性は否定できないので、重要な業務データを一ヶ所所で保管することには不安がありました。自社のデータは自社で守りたいという意向もあって、富山と東京という当社の拠点を有効活用することにしました」

導入

計画の実現に選択したのは Arcserve シリーズ

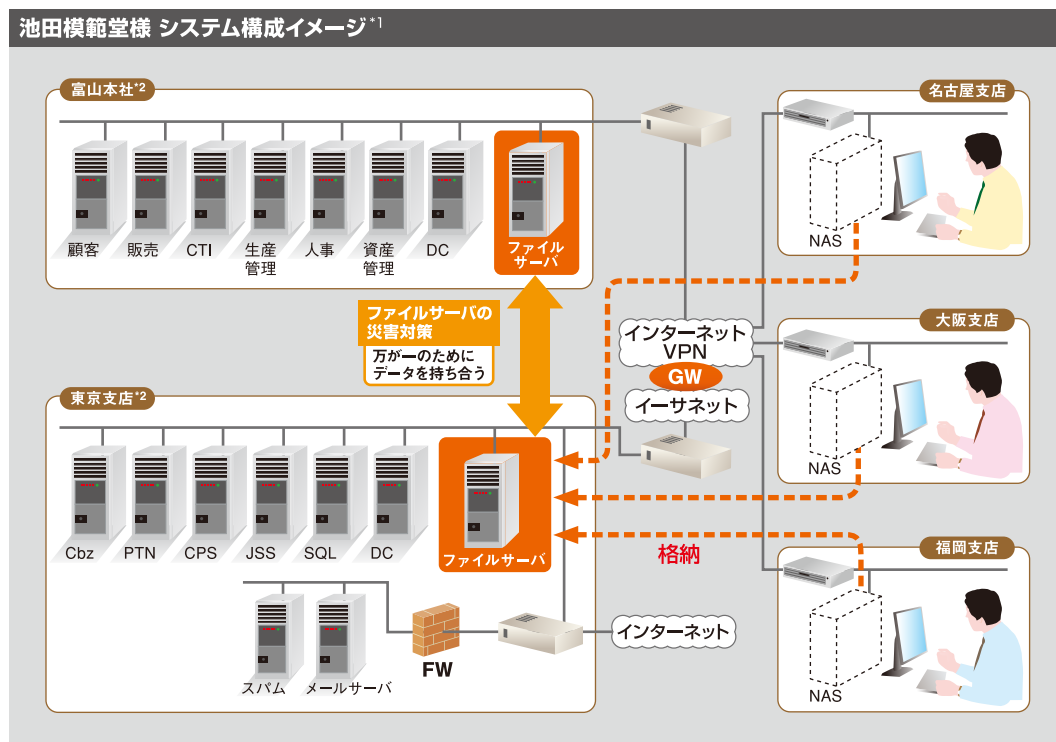
富山県下の有名な祭りにちなんで、“風の盆”と名付けられたプロジェクトは、2008年2月にスタートを切った。一連の計画の最後の仕上げとして行われたのがデータ保護で、バックアップに **Arcserve Backup**、そしてレプリケーションに **Arcserve Replication**が選定された。早川氏はその理由を次のように語る。

「前職で利用した経験があり、キヤノンS&Sから名前が出てきたときも、まったく異論はありませんでした。他にも製品はありますが、この世界でデータ・バックアップといえば、やはり実績がある Arcserve でしょう。

Arcserve Replicationは、今回初めて検討したのですが、Arcserve Backup との親和性が高く、設定や日々の運用管理が思った以上に簡単なので驚きました。専門知識が必要なのではと思っていたのですが、これならJSIで扱うことができると確信することができました」

今回、具体的なデータ保護体制は、次のようなシステム構成とスケジュールで行われることになった。

まず、富山本社と東京支店にファイルサーバを置き、富山本社のクライアントPCは富山本社サーバに、東京支店、名古屋支店、大阪支店、福岡支店のクライアントPCは東京支店サーバに業務データを格納する。



2台のファイル・サーバは日次ベースで Arcserve Backupでディスク・トゥ・ディスク・トゥ・テープのバックアップを取りながら、お互いのデータを Arcserve Replication のレプリケーション機能により相互に複製を作成する。

これによって、局所的なシステム障害や拠点全体に波及する異変が発生しても、業務データが失われるリスクを回避できる。

効果

本来業務のかたわら、堅牢なデータ保護管理が可能に

キャノンS&Sの手厚いサポートもあって、すべての工程がスムーズに進み、管理レベルが大きく向上した新体制が2009年3月から本格的に機能し始めた。JSIで策定した運用ポリシー、セキュリティポリシーに沿って一部自動化した運用管理が実現するとともに、ユーザに適切な権限に基づいたPC活用を促すことが可能になった。早川氏は、今回構築したデータ保護体制を次のように評価する。

「管理対象のデータには動画や画像など大容量のものも数多くあるのですが、一部ネットワーク増強を図ったこともあって順調に稼働しています。Arcserve シリーズはGUI管理画面が分かりやすく直感的に理解できるだけでなく、少ない操作で完結できるため助かっています。それは私が営業業務のかたわら、管理を実行できていることでも示していると思います。

先日も、サーバ・メンテナンスで Arcserve Replication を停止する必要があったのですが、ほんの2ページ分のマニュアルを見ながらあっという間に完了。まさに『えっ、これだけ?』と拍子抜けするほどでした」

また、二段構えのデータ保護体制を確立したことで、ユーザは業務データの保管について懸念することなく業務に専念できるようになった。操作ミスでデータを消去してしまったとしても、今は時間をかけずに復旧できるという。

さらに、AD構築によりセキュリティレベルも向上、「システム理由による情報紛失・漏えいは、今や99.9%ないと言える」と、早川氏は胸を張る。キャノンシステムアンドサポート株式会社 ITS・サポート推進本部 コンサルティング部 コンサルティング第二課 課長 白石卓巳氏は、今回のプロジェクトを振り返って次のように語る。

「医薬品メーカーである池田模範堂様は、業務特性上、監督官庁、各種医療機関などと膨大な量のデータをやりとりされ、たった1ページのファイルを失っても大きな損失となります。そうした中、Arcserve シリーズを用いて二段構えでデータ保護体制を確立できたことは大きな意義があります」

「ムヒ」というかけがえのないブランドを守るため、経営スピリッツである“変身への挑戦”を情報システムで証明した池田模範堂のJSIチーム。バーチャルな情報システム部で確かなデータ保護管理を実現した背景には、世界のベストプラクティスを結集して進化し続けている Arcserve シリーズの存在があった。



ユーザ企業様プロフィール



株式会社 池田模範堂

■本社所在地／富山県中新川郡上市町神田(じんでん)16番地

■設立／1948年

■資本金／9,516万円

■事業内容／虫さされ・かゆみ止め分野で、「ムヒ」ブランドで知られる、富山の外用剤メーカーである。創業100年の節目を越えた今年、これまで培った技術と伝統を継承しながら、さらなる価値創造を目指し、「肌を治すチカラ」という新しいコーポレート・スローガンおよび、「MUHI」をデザイン化したコーポレート・ロゴを選定。「いろいろな方のいろいろな肌の悩み」にお応えできる、そんな外用剤治療薬のスペシャリストへの変身を目指している。

■URL／<http://www.ikedamohando.co.jp/>

